

不正行為は、厳重に処分されます。IIの「10.国際学部における不正行為に関する規程」を参照。

2. 履修登録と単位の修得

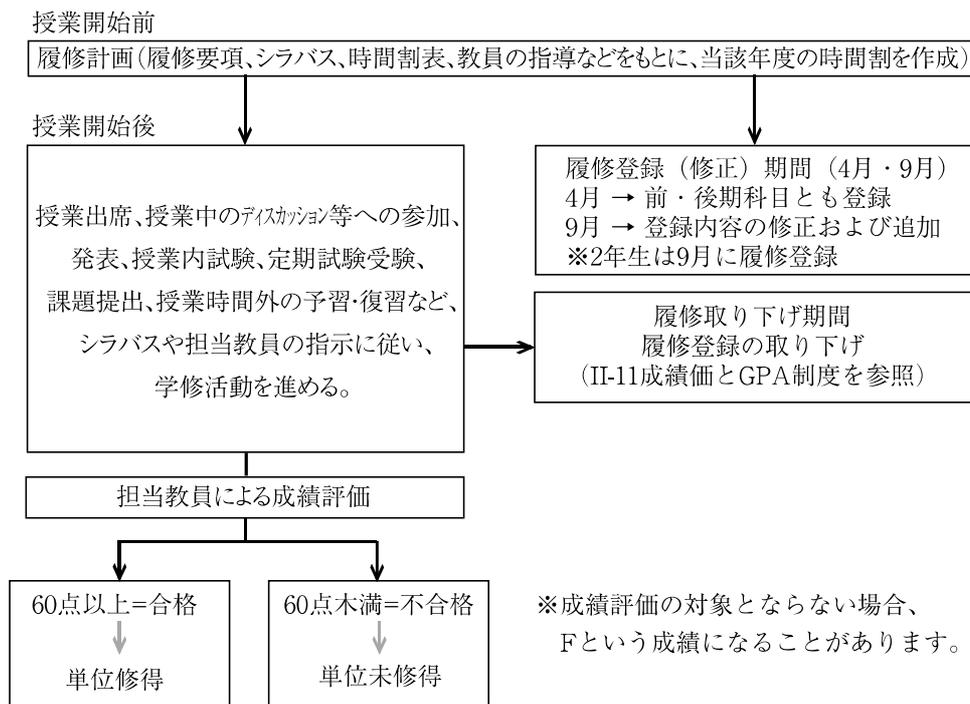
学年配当制

大学の科目は「学年配当制」に基づいています。学年配当制では、当該科目の配当学年より上級の学年生はその科目を履修できますが、下級の学年生は履修できません。たとえば、第2学年に配当されている科目について、第1学年生はこれを履修できませんが、第2・3・4学年生は履修できることとなります。

履修登録と履修計画

科目を履修するには、あらかじめ履修登録をすることが必要です。履修登録は、当該学年1年間（前期・後期）の科目を毎年度4月（第2学年生は帰国後）の履修登録期間にWEB履修登録により一括して登録します。また、後期分については、9月の履修登録修正期間に登録・修正することもできます（クラス分けのある必修・抽選科目を除く）。科目によっては、シラバス記載の授業の目的を達成するため、適正なクラスサイズを確保する必要があれば抽選による履修者数の制限を行うことがあります。履修登録期間および方法等の詳細については、別途履修ガイダンスやUNIPA等を通じて説明します。年度始め（第2学年生は帰国後）の履修ガイダンスには必ず出席してください（第4学年は実施しません）。

履修計画から単位修得までの流れ



通常履修・再履修

科目の履修は、当該年度に配当された科目を履修する「通常履修」と、前の学期や年度に単位を修得できなかった科目を再び履修する「再履修」とに分けられます。不合格科目については、その科目が必修科目の場合は再履修する必要がありますが、必修科目でない場合は、必ずしも再び履修する必要はありません。また、すでに単位を修得した科目を再び履修することはできません。

休学と単位修得

休学期間中は、本学の科目を履修し単位を修得することはできません。また、休学期間中に個人的に留学し修得した海外の大学等での単位は本学部では認定されないので注意してください。

プリレクイジット科目

ある科目を履修するために、別の科目の単位をすでに修得済みであることが求められることがあります。このような履修の前提となる科目は「先修科目（プリレクイジット科目）」と呼ばれ、発展的な科目を理解するための前提となる基礎的な内容を扱う科目が指定されます。第3・4学年で履修するグローバル専攻専門発展科目の「特論科目」には、先修科目が指定されていることがあります。第2学年の段階で、翌年度以降に履修したい専門発展科目の特論科目に先修科目が設定されているかを確認し、計画的に履修してください。先修科目は履修ガイダンスや、(令和6年度以降は)シラバスなどで周知されます。

3. キャップ制

前期・後期に履修登録できる単位の上限を設定する制度を「キャップ制」と呼びます。その目的は、履修した科目の学習時間（予習・復習を含む）を確保し、授業内容を十分に身につけるため過度に多くの科目を履修しないようにするためです。国際学部ではこのキャップ制を採用し、履修登録できる単位の上限を原則として各学期24単位とします。ただし、下記のGPA基準（※）をクリアしている学生は上限を26単位とします。また、下記科目（※※）等はキャップ制の履修登録単位に含まれません。

※履修登録単位数上限を26単位とするためのGPA基準

第2学年3.7以上、第3学年3.5以上、第4学年3.5以上

※※キャップ制除外科目

①学部共通開講科目：「体験プログラムA」「体験プログラムB」「インターンシップA」「インターンシップB」[△]

②教職課程科目のうち、卒業要件とならない科目

「大学コンソーシアム大阪」

③日本語教員養成課程の自由科目

4. 休講と補講

気象警報および台風、地震等による交通機関の運行停止に伴う授業の取扱い

暴風警報等が発表された場合及び台風や地震等により交通機関が運行停止となった場合、授業の取扱いについては、学内規程「気象警報及び台風・地震等による交通機関の運行停止に伴う授業の取扱いについて」に基づき以下のとおりとします。ただし、居住されている地域の被災により避難指示（緊急）・避難勧告が発表された場合や公共交通機関が運行停止等になり登校できない場合は、欠席による不利益がないよう配慮しますので、身の安全を最優先に考え、適切な行動をとってください。また、以下の事例以外に特別な事態が生じた場合にも授業の短縮や休講となる場合があります。

特別警報または暴風警報発表の場合

特別警報または暴風警報が以下のいずれかの地域に発表された場合は次のとおり休講とします。ただし、特別警報が発表された場合は終日休講とします。また、特別警報または暴風警報が授業時間中に発表された場合は、授業を中止して休講とします。

(1) 警報発表対象地域

大阪府：大阪市、北大阪（豊中市・池田市・吹田市・高槻市・茨木市・箕面市・摂津市・島本町・豊能町・能勢町）、東部大阪（東大阪市・守口市・枚方市・八尾市・寝屋川市・大東市・柏原市・門真市・四條畷市・交野市）、南河内（富田林市・河内長野市・松原市・羽曳野市・藤井寺市・大阪狭山市・太子町・河南町・千早赤阪村）、泉州（堺市・岸和田市・泉大津市・貝塚市・泉佐野市・和泉市・高石市・泉南市・阪南市・忠岡町・熊取町・田尻町・岬町）

兵庫県：阪神（神戸市・尼崎市・西宮市・芦屋市・伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・猪名川町）

奈良県：北西部（奈良市・大和高田市・大和郡山市・天理市・橿原市・桜井市・御所市・生駒市・香芝市・葛城市・平群町・三郷町・斑鳩町・安堵町・川西町・三宅町・田原本町・高取町・明日香村・上牧町・王寺町・広陵町・河合町）、五條・北部吉野（五條市北部・吉野町・大淀町・下市町）

京都府：京都・亀岡（京都市・亀岡市・向日市・長岡京市・大山崎町）、山城中部（宇治市・城陽市・八幡市・京田辺市・久御山町・井出町・宇治田原町）、山城南部（木津川市・笠置町・和束町・精華町・南山城村）

| | | | | | | |
|------|---------|--------|--------|--------|-------|-------|
| 実点 | 100～90点 | 89～80点 | 79～70点 | 69～60点 | 59点以下 | 不受験 |
| 成績評価 | 秀 | 優 | 良 | 可 | 不可 | (不受験) |
| GP | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 | 0 |

$$\text{GPA} = \frac{\{(\text{履修登録科目の単位数}) \times (\text{履修登録科目のGP})\}の総和}{\text{総履修登録科目の単位数}}$$

- ② 実点は当該科目の点数を表します。
 - ③ 不可になった科目または不受験の科目を再履修して単位を修得した場合、通算のGPAには過去の0点と再履修のGPの両方が算入されます。
 - ④ 進級要件、卒業要件にはGPAを適用しません。
- (3) GPAからの除外科目
 キャップ制除外科目および履修を取り下げた科目は、GPAの計算式からも除外されます。

履修の取り下げ

履修登録期間終了後、学部が定めた期間に、学生本人から申し出があった科目に関してのみ履修の取り下げを認めます。ただし、取り下げ期間中の履修科目の変更や追加は認められません。詳しい手続きの方法は、別途、UNIPAでお知らせします。

第2外国語科目、「総合英語」

- ※ 例外的に履修取り下げの対象にならない科目があります。特に、第1学年前期の言語科目の各科目、「基礎ゼミ」、「留学セミナー」、および抽選科目は履修を取り下げることができません。

成績通知（成績通知書と成績証明書）について

- (1) 成績通知書では、履修登録を行った全ての科目について実点が通知され、成績評価の要件に満たない場合（試験欠席やレポート未提出等）は、「不受験」と表示されます。成績通知書は毎年度前期末と後期末にUNIPAで通知されます。
- (2) 成績証明書は大学が発行する正式な証明書で、単位修得（合格）科目とその成績評価が記載されています。就職活動や海外の大学への留学等、正式な成績証明書が必要な場合に使います。各種証明の交付を受けたい場合は証明書自動発行機で発行（和文のみ）、又は手数料を入金の上、発行された受領書を取扱い窓口へ提出して下さい。詳しくは「学生生活ガイドブック」を参照してください。

成績照会

成績照会とは、成績評価のプロセスに誤りがなかったかを授業担当教員に確認するものであり、授業参画度の再考、試験およびレポートの講評、再採点などを願ひ出るものではありません。試験を受験したにもかかわらず不受験扱いになっている等、成績評価プロセス自体に疑問があるときは、この制度によって担当教員に対して説明を求めることができます。ただし、担当教員に直接連絡を取るのではなく、正式な手続きのもとで照会を行ってください。手続きの詳細については、成績発表と同時にUNIPAで周知されます。

12. オフィス・アワーとアセンブリー・アワー

(1) オフィス・アワー

学生からの授業科目等に関する質問や学生生活上の相談等に応じるための時間枠として、教員があらかじめ指定した時間帯のことで、その時間帯であれば、学生は事前に予約をした上で研究室を訪問し、質問や相談を行うことができます。なお、教員によってオフィス・アワーの曜日や時間帯は異なります。

(2) アセンブリー・アワー

金曜の第3時限は、留学に関する説明会、学内外の講師を招いての講演会、就職ガイダンス等を開催する時間帯です。国際学部の全学生がアセンブリー・アワーの催しに出席できるように、アセンブリー・アワーには、国際学部の科目を開講していません。また、アセンブリー・アワーと同時限に開講している国際学

全学的な留学・語学研修

1. 交換留学・派遣留学・認定留学

本学部の学生は、グローバルエデュケーションセンターを主管とする近畿大学の交換・派遣留学に参加し、再度留学することが可能です。その場合、国際学部の1年間の必修留学と合わせ、計2年間を上限とする留学期間を学則第3条に規定する修業年限に算入することができるものとします。グローバルエデュケーションセンター主管の交換・派遣留学に参加し、現地の大学で取得した単位は所定の手続きを経て、全学共通科目または専門科目として単位認定します。

2. 語学研修

本学部の学生がグローバルエデュケーションセンターを主管とする短期語学研修に参加することは可能ですが、その際、現地の大学で認定された修了証に基づく専修言語の研修による単位認定は国際学部ではされません。専修言語以外の研修は、「体験プログラムA」で単位認定されることがあります。詳細の条件はシラバスで確認してください。グローバル専攻の学生が英語以外の外国語を学習するために語学研修に参加することや、東アジア専攻の学生が英語やその他の専修言語以外の外国語を学習するために語学研修に参加することは大いに奨励します。

IV 教職課程と日本語教員養成課程

1. 教職課程

教職課程は教職教育部で担当し、本学各学部卒業後に、高等学校・中学校の教員を希望する学生に必要な教員免許資格を取得させることを目的としています。国際学部で取得できる教員免許資格は以下のとおりです。

履修希望者は「教職課程履修ガイダンス」に出席し、その指示に従って手続きをしてください。

取得免許教科の種類

| 専攻名 | 高等学校教諭一種免許状 | 中学校教諭一種免許状 |
|---------|-------------|------------|
| グローバル専攻 | 英語 | 英語 |

注意点

- (1) 詳細は「教職課程履修ガイダンス」で配布する「教職課程履修要項」を参照してください。
- (2) 教職教育部開講科目は、進級・卒業所要単位には含まれず、キャップ制度対象外になります。
- (3) 時間割の編成によっては教職課程を履修することが難しい場合があります。

2. 日本語教員養成課程

日本の国際化・グローバル化により、日本の国内外で日本語の習得を必要とする日本語学習者が増加し、これに伴い日本語教員の需要が増えています。現在、日本語教員に関する公的な免許制度はありませんが、国際学部では日本語教育関連の科目を開設して、日本語教員の養成課程を設けます。次の表の必修科目（※）とその他の科目を合計26単位修得した学生には日本語教員養成課程の修了証明書を卒業証書授与の折、交付します。

履修希望者は「日本語教員養成課程ガイダンス」に出席し、その指示に従って登録等の手続きをしてください。

手続きがなされていない場合は、修了証明書の発行対象となりません。

| 科 目 | | 配当学年 | 単位数 | |
|-------------|----------------------------|--------|-----|---|
| 異文化理解 | 学部共通開講科目 | 1~4 | 2 | |
| 日本語学（※） | | 2~4 | 2 | |
| 日本語教授法1（※） | | 3~4 | 2 | |
| 日本語教授法2（※） | | 3~4 | 2 | |
| 日本語教育実習（※） | | 3~4 | 2 | |
| 日本近現代史 | 共通教養科目 | 1~4 | 2 | |
| 日本語の技法 | | 1~4 | 2 | |
| 現代の社会論 | | 2~4 | 2 | |
| 人権と社会1 | | 1~4 | 2 | |
| 人権と社会2 | | 2~4 | 2 | |
| 住みよい社会と福祉 | | 2~4 | 2 | |
| 心理と行動 | | 2~4 | 2 | |
| コミュニケーション学 | グローバル専攻 | 2~4 | 2 | |
| 現代日本の文化的多様性 | | 3~4 | 2 | |
| 多文化共生社会と言語 | | 3~4 | 2 | |
| 言語教育理論 | | 2~4 | 2 | |
| 日本語の構造 | | 3~4 | 2 | |
| 東アジアの中の日本 | | 3~4 | 2 | |
| 中国現代文化1 | 東 ア ジ ア 専 攻 | 中国語コース | 2~4 | 2 |
| 中国現代文化2 | | | 3~4 | 2 |
| 日中比較文化1 | | | 2~4 | 2 |
| 日中比較文化2 | | | 3~4 | 2 |
| 日中翻訳1 | | 2~4 | 2 | |
| 日中翻訳2 | | 3~4 | 2 | |
| 日韓比較研究1 | | 韓国語コース | 2~4 | 2 |
| 日韓比較研究2 | | | 3~4 | 2 |
| 異言語と文化1 | | | 2~4 | 2 |
| 異言語と文化2 | | | 3~4 | 2 |
| 日韓映像翻訳1 | 2~4 | | 2 | |
| 日韓映像翻訳2 | 3~4 | | 2 | |
| 日本語音声学 | 自由科目 ※ | 3~4 | 2 | |
| 日本語史論 | | 3~4 | 2 | |

※自由科目は進級要件および卒業要件には含まれません。
 ※日本語教員養成課程修了を目指す学生のみ履修が可能です。

V 各種制度・案内

1. 学長賞、学部長賞等

学則の定めるところにより、在学中の学業成績が優秀であり、他の学生の模範となる学生に対し、学長賞、学部長賞が卒業式で授与されます。また、課外活動・クラブ活動等で顕著な成績や功績を挙げた学生は、特別に表彰されます。

2. 奨学金制度

以下の(1)や(2)の制度があります。いずれの奨学金についても、募集や資格条件等の詳細については、学生部発行の学生生活ガイドブックや近畿大学ホームページ等で確認してください。

- (1) 近畿大学奨学金

VI 授業科目と履修方法

1. 全学共通科目（共通教養科目・外国語科目）：卒業・履修要件と授業科目表

卒業・履修要件：共通教養科目および外国語科目

| 科目区分 | | | 修得すべき単位数 | |
|--------|--------------|-------------------------------|---------------------------|--------|
| 全学共通科目 | 共通教養科目 | 人間性・社会性科目群 | * スポーツ・表現活動科目群と合わせて、4単位以上 | 26単位以上 |
| | | 地域性・国際性科目群 | 2単位以上 | |
| | | 課題設定・問題解決科目群「基礎ゼミ」 | 2単位 | |
| | | 課題設定・問題解決科目群 | 2 単位以上（※） 4 | |
| | スポーツ・表現活動科目群 | * 人間性・社会性科目群と合わせて、4単位以上 | | |
| | 外国語科目 | | | |

※必修科目
「基礎ゼミ」、
「ICTリタラシー1」を含む

授業科目表：共通教養科目

| 科目区分 | | 授業科目の名称 | 単位数 | 配当学年 | |
|------------------|------------|------------|-----------|------|---|
| 全学共通科目 | 共通教養科目 | 人間性・社会性科目群 | 暮らしのなかの憲法 | 2 | 1 |
| | | 哲学と人間・社会 | 2 | 1 | |
| | | 現代社会と倫理 | 2 | 1 | |
| | | 人権と社会 1 | 2 | 1 | |
| | | 人権と社会 2 | 2 | 2 | |
| | | 心理と行動 | 2 | 2 | |
| | | 現代の社会論 | 2 | 2 | |
| | | 芸術鑑賞入門 | 2 | 2 | |
| | | 住みよい社会と福祉 | 2 | 2 | |
| | | 現代社会と法 | 2 | 2 | |
| | | 現代社会と政治 | 2 | 2 | |
| | | 現代経済の課題 | 2 | 2 | |
| | | 教養特殊講義 A | 2 | 1 | |
| 地域性・国際性科目群 | 日本近現代史 | 2 | 1 | | |
| 世界近現代史 | 2 | 1 | | | |
| 地域と環境の地理学 | 2 | 1 | | | |
| 国際文化研究 1 | 2 | 2 | | | |
| 国際文化研究 2 | 2 | 2 | | | |
| 教養特殊講義 B | 2 | 1 | | | |
| 課題設定・問題解決科目群 | 基礎ゼミ（必修科目） | 2 | 1 | | |
| ICTリタラシー 1（必修科目） | 2 | 1 | | | |
| 日本語の技法 | 2 | 1 | | | |
| キャリアデザイン 1 | 2 | 2 | | | |
| キャリアデザイン 2 | 2 | 3 | | | |
| ICTリタラシー 2 | 2 | 2 | | | |
| 生命の科学 | 2 | 2 | | | |
| 環境科学 | 2 | 2 | | | |
| 思考の技術 | 2 | 1 | | | |
| 基礎数学 1 | 2 | 3 | | | |
| 基礎数学 2 | 2 | 3 | | | |
| 教養特殊講義 C | 2 | 1 | | | |
| スポーツ・表現活動科目群 | 生涯スポーツ 1 | 1 | 1 | | |
| 生涯スポーツ 2 | 1 | 2 | | | |
| 健康とスポーツの科学 | 2 | 2 | | | |

外国語科目履修上の注意

- (1) 全学共通科目の卒業・履修要件を満たすためには必ずしも外国語科目を履修する必要はありません。
- (2) 教職課程を履修している学生は、外国語科目を履修することができません。
- (3) TOEICを除く外国語科目を履修希望の場合、いずれか1言語を選択し、第2学年後期において、履修が許可された言語の「入門A・B」科目の両方を履修しなくてはなりません。その後第4学年前期まで、基礎、中級、上級と継続して自動的に履修することになります。ただし、現レベルの「A・B」科目の両方の単位を同時に修得できなかった場合は上のレベルには進めません。
- (4) 自分の専修言語を履修することはできません。
- (5) 外国語科目は抽選科目ですから、各言語のクラスの抽選（選考）に当選した者だけが履修できます。抽選については、第2学年の履修ガイダンスで案内されます。抽選は入学以降の成績（通算GPA）を基準にします。

2. 専門科目（学部共通開講科目）：卒業・履修要件と授業科目表

卒業・履修要件：学部共通開講科目

| 科目区分 | | 修得すべき単位数 | | |
|------|----------|------------|-----|------------------------------------|
| 専門科目 | 学部共通開講科目 | 「留学セミナー」 | 2単位 | 左記所要単位数を含み、 専門科目全体から 100単位以上 |
| | | 「異文化理解」 | 2単位 | |
| | | 「専門導入セミナー」 | 2単位 | |

授業科目表：学部共通開講科目

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 単位数 | 配当学年 | |
|-----------------------------|----------|----------------|------|---|
| 専門科目 | 学部共通開講科目 | (留学前) | | |
| | | 留学セミナー（必修科目） | 2 | 1 |
| | | 異文化理解（必修科目） | 2 | 1 |
| | | (留学後) | | |
| | | IELTS | 1 | 2 |
| | | 日本語教授法1 | 2 | 3 |
| | | 日本語教授法2 | 2 | 3 |
| | | 日本語教育実習 | 2 | 3 |
| | | 日本語学 | 2 | 2 |
| | | ビジネスライティング | 1 | 3 |
| | | 専門導入セミナー（必修科目） | 2 | 2 |
| | | 体験プログラム A | 2 | 2 |
| | | 体験プログラム B | 2 | 2 |
| | | インターンシップ A | 2 | 2 |
| | | インターンシップ B | 2 | 2 |
| | | 英米文学研究 | 2 | 3 |
| | | 英米文学史 | 2 | 3 |
| | | 日本語音声学（自由科目 ※） | 2 | 3 |
| | | 日本語史論（自由科目 ※） | 2 | 3 |
| 大学コンソーシアム大阪 単位互換 (8単位まで) | | | | |

※自由科目は進級要件および卒業要件に含まれません。

※日本語教員養成課程修了を目指す学生のみが履修可能です。

履修上の注意

学部共通開講科目は、グローバル専攻と東アジア専攻の学生全員を対象とした科目であり、留学前に履修する留学準備のための科目と、留学後に履修する科目に分かれます。前者は、第1学年前期に配当される留学に必須の内容で、全て必修科目です。後者は、留学後の第2学年後期以降に配当される選択科目であり、分野が多岐にわたります。教職課程、日本語教員養成課程において重要な科目や交換派遣留学応募に重要な英語検定試験であるIELTSの受験準備の科目もあります。自身の関心や将来の進路等に留意して選択して下さい。

3. 専門科目（学部共通開講科目以外）： 卒業・履修要件、進級要件と授業科目表

(1) グローバル専攻

卒業・履修要件

| 科目区分 | | 修得すべき単位数 | |
|-------------|----------------------------|--|-------------------------|
| 全学共通科目 | 共通教養科目 | 26単位以上（必修科目を含む） ※詳しくは「VI-1. 全学共通科目（共通教養科目・外国語科目）：卒業・履修要件と授業科目表」の記述を参照のこと。 | |
| | 外国語科目 | | |
| 専門科目 | 学部共通開講科目 | 6単位以上 (必修科目を含む) | |
| | セミナー科目 | 8単位以上 (すべて必修科目) | |
| | 言語科目 | 13単位以上 (必修科目を含む) | |
| | 留学科目（第1学年後期、第2学年前期のみの開講科目） | 2単位以上 (32単位あるいは34単位まで※) | |
| | 専門基礎科目 | 8単位以上 | |
| | 専門 発展 科目 | コミュニケーション・実践領域 | 所属する領域から8単位以上を含み、20単位以上 |
| | | 言語文化領域 | |
| 国際関係領域 | | | |
| 人文社会領域 | | | |
| 領域共通科目 | | | |
| 合計（卒業所要単位数） | | 126単位以上 | |

100単位以上

左記の条件をみたしていれば、それを超える単位数は専門科目のどの科目を履修して修得してもよい。左記の各区分の単位数を合計しても100単位にはならないので注意すること。

※「ELS + 学部1科目受講」のコースに参加した場合、最大で~~34~~³⁶単位になる可能性があります。

進級要件

| 第1学年→第2学年 | 第2学年→第3学年 | 第3学年→第4学年 |
|-----------|-----------|-----------|
| 20単位以上 | 56単位以上 | 92単位以上 |

授業科目表：セミナー科目・言語科目・留学科目・専門基礎科目・専門発展科目

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 単位数 | 配当年次 | |
|------|---------|----------------------------------|------|---|
| 専門科目 | セミナー科目 | セミナー 1（必修科目） | 2 | 3 |
| | | セミナー 2（必修科目） | 2 | 3 |
| | | セミナー 3（必修科目） | 2 | 4 |
| | | セミナー 4（必修科目） | 2 | 4 |
| | 言語科目 | 文法とスピーキング（必修科目） | 3 | 1 |
| | | ポキャブラリー（必修科目） | 2 | 1 |
| | | リーディング・ライティング（必修科目） | 3 | 1 |
| | | コンピュータ応用学習（必修科目） | 1 | 1 |
| | | キャリア英語 1（必修科目） | 1 | 2 |
| | | ディスカッション（必修科目） | 1 | 2 |
| | | English for Specific Purposes 1A | 1 | 2 |
| | | English for Specific Purposes 1B | 1 | 2 |

- 前期の「基礎数学1」と後期の「基礎数学2」は、企業の採用選考で課される数学的な能力を問うテストの対策講座です。数学が苦手な人は履修することを強く推奨します。
2. 学部共通開講科目では下記を参考にして履修してください。
 - 日本語教員養成課程の修了を目指す人は、「日本語教授法1」、「日本語教授法2」、「日本語教育実習」は必修科目ですから履修してください。日本語についてさらに知識を深めるために「日本語音声学」と「日本語史論」も履修を検討してください。
 - 「英米文学研究」と「英米文学史」は、英米文学に関心のある人は履修してください。
 3. 言語科目では、前期に必修科目の「キャリア英語2」と「ディベート」があります。指定されたクラスで履修してください。後期には「プレゼンテーション上級」と「交渉のスキル」があります。また、選択科目の「English for Specific Purposes 2A-C」が前期に、「English for Specific Purposes 3A-C」が後期に開講されます。希望に応じて履修してください。
 4. 専門発展科目は4つの「領域」に分かれています。卒業までに、自分が属する領域から最低8単位を修得し、他の領域の科目も含めて合計20単位以上を修得する必要があります。領域共通の「Thesis Writing」は、所属するゼミの教員からアカデミックな「論文」を作成するための指導を受ける科目です。
 5. 第3学年と第4学年では、すべての学生が「ゼミ」に所属し、セミナー科目の「セミナー1」、「セミナー2」、「セミナー3」、「セミナー4」で同じ教員の指導を受け、成果物を提出します。
 6. 教職課程を履修する人は、国際学部の卒業要件を考慮しながら、教育実習や介護等体験のような実習に向けて履修すべき重要な科目を修得しなければなりません。国際学部の履修要項と教職課程の履修要項の内容を十分理解して履修し、授業に取り組んでください。

<目標とする検定>

留学修了時：TOEIC 730 点以上、TOEFL iBT 75 点以上、IELTS 5.0 以上のいずれか

卒業時：TOEIC 800 点以上、TOEFL iBT 90 点以上、IELTS 6.0 以上のいずれか

(2) 東アジア専攻 中国語コース

卒業・履修要件

| 科目区分 | | 修得すべき単位数 | |
|-------------|----------------------------|---|--|
| 全学共通科目 | 共通教養科目 | 26 単位以上（必修科目を含む） ※詳しくは「VI-1. 全学共通科目（共通教養科目・外国語科目）：卒業・履修要件と授業科目表」の記述を参照のこと。 | |
| | 外国語科目 | | |
| 専門科目 | 学部共通開講科目 | 6 単位以上 (必修科目を含む) | 100 単位以上 グローバル専攻の専門基礎科目・専門発展科目を16単位を上限として含むことができる。 |
| | セミナー科目 | 8 単位以上 (すべて必修科目) | |
| | 言語科目 | 18 単位以上 (必修科目を含む) | |
| | 留学科目（第1学年後期、第2学年前期のみの開講科目） | 2 単位以上 | |
| | 専門発展科目（※） | 18 単位以上 (必修科目を含む) | |
| 合計（卒業所要単位数） | | 126 単位以上 | |

※グローバル専攻の専門基礎科目・専門発展科目は含まない。

進級要件

| 第1学年→第2学年 | 第2学年→第3学年 | 第3学年→第4学年 |
|-----------|-----------|-----------|
| 20 単位以上 | 56 単位以上 | 92 単位以上 |

です。各自の必要性に応じて履修を決めてください。

- 外国語科目は選択科目ですから履修しなくても卒業要件を満たすことができます。中国語以外の外国語を習得することは将来の進路選択にも役立ちますので、各自の希望進路や学修目標に照らして履修するかどうかを決めてください。外国語科目の中には東アジア専攻の学生用に英語も設けられています。特に英語は活用できる幅が広いので、履修することを強く推奨します。外国語科目を履修する場合、1言語を選択し、この学期から入門、基礎、中級、上級（「総合英語1～4」）の順に履修しなければなりません。外国語科目は抽選科目ですから、希望通り履修できないこともあります。履修の方法は、VI-Iの外国語科目の授業科目表の下にある「外国語科目履修上の注意」を参照してください。
2. 学部共通開講科目については下記を参考にして履修してください。
 - 必修科目の「専門導入セミナー」を履修し、第3学年以降の「セミナー」に備えます。この科目の中で各自の研究テーマを考え、学期末に研究計画書を提出し、それに基づいて第3学年以降に所属する「ゼミ」が決定されます。この科目を履修しない場合は所属が決まらず、3年生になっても「セミナー1」と「セミナー2」を履修できません。
 - 日本語教員養成課程の修了を目指す人は「日本語学」を履修してください。
 - 「インターンシップ」と「体験プログラム」については、説明会がありますから参加してください。参加するインターンシップや体験プログラムによって時期が異なります。
 3. 言語科目では、必修科目の「中国語文法（上級）」、「中国語会話（上級）」、「中国語検定試験演習1」を指定されたクラスで履修してください。卒業までに18単位以上修得する必要がありますから、選択科目の「中国語表現技法1」「ビジネス中国語1」なども計画的に履修してください。
 4. 専門発展科目は、必修科目の「中国学研究法」に加えて、歴史・言語・文化などの様々な科目を選択できます。卒業までに中国語コース専門発展科目の中から18単位以上修得する必要がありますから、各自の興味関心に応じて計画的に履修してください。また卒業要件の18単位を超える分については、グローバル専攻の専門基礎科目・専門発展科目を履修することもできます。この学期には2年次に配当される専門基礎科目を履修できます。 **16単位まで**
 5. 後期に学部主催のTOEICテストを実施しますから、必ず受験してください。

【第3・4学年の学修】

専門分野の知識を深め、アカデミックな知識を深め、体験を積みます。卒業に必要な単位を揃えられるように、履修登録には細心の注意を払ってください。進路選択についても考えて行動してください。

1. 共通教養科目・外国語科目は、引き続き必要な科目を履修してください。下記に注意してください。
 - 外国語科目は合格すれば上のレベルの科目に自動的に履修登録されます。途中で辞退することはできませんから注意してください。
 - 前期の「キャリアデザイン2」は就職活動をめざした実践的な内容になります。履修を強く推奨します。
 - 前期の「基礎数学1」と後期の「基礎数学2」は、企業の採用選考で課される数学的な能力を問うテストの対策講座です。数学が苦手な人は履修することを強く推奨します。
2. 学部共通開講科目では下記を参考にして履修してください。
 - 日本語教員養成課程の修了を目指す人は「日本語教授法1」、「日本語教授法2」、「日本語教育実習」は必修科目ですから履修してください。日本語についてさらに知識を深めるために「日本語音声学」と「日本語史論」の履修も検討してください。
3. 言語科目では、必修科目として前期に「中国語演習1」、「中国語プレゼンテーション1」があり、後期に「中国語演習2」、「中国語プレゼンテーション2」、「中国語検定試験演習2」があります。指定されたクラスで履修してください。その他の選択科目も計画的に履修してください。
4. 専門発展科目は、引き続き各自の興味関心に応じて計画的に履修してください。コースの専門発展科目から18単位以上修得するよう注意してください。3年次以降は、グローバル専攻の専門基礎科目に加えて、専門発展科目も履修することができます。「Thesis Writing」は、所属するゼミの教員からアカデミックな

(3) 東アジア専攻 韓国語コース

卒業・履修要件

| 科目区分 | | 修得すべき単位数 | |
|-------------|----------------------------|--|---|
| 全学共通科目 | 共通教養科目 | 26単位以上（必修科目を含む） ※詳しくは「VI-1. 全学共通科目（共通教養科目・外国語科目）：卒業・履修要件と授業科目表」の記述を参照のこと。 | |
| | 外国語科目 | | |
| 専門科目 | 学部共通開講科目 | 6単位以上 (必修科目を含む) | 100単位以上 グローバル専攻の専門基礎科目・専門発展科目を16単位を上限として含むことができる。 |
| | セミナー科目 | 8単位以上 (すべて必修科目) | |
| | 言語科目 | 18単位以上 (必修科目を含む) | |
| | 留学科目（第1学年後期、第2学年前期のみの開講科目） | 2単位以上 | |
| | 専門発展科目（※） | 18単位以上 (必修 単位 科目を含む) | |
| 合計（卒業所要単位数） | | 126単位以上 | |

※グローバル専攻の専門基礎科目・専門発展科目は含まない。

進級要件

| 第1学年→第2学年 | 第2学年→第3学年 | 第3学年→第4学年 |
|-----------|-----------|-----------|
| 20単位 | 56単位 | 92単位 |

授業科目表：セミナー科目・言語科目・留学科目・専門発展科目

| 科目区分 | 授業科目の名称 | 単位数 | 配当年次 |
|-----------|----------------------|-----|------|
| セミナー科目 | セミナー 1（必修科目） | 2 | 3 |
| | セミナー 2（必修科目） | 2 | 3 |
| | セミナー 3（必修科目） | 2 | 4 |
| | セミナー 4（必修科目） | 2 | 4 |
| 言語科目 | 韓国語文法（入門）1（必修科目） | 1 | 1 |
| | 韓国語文法（入門）2（必修科目） | 1 | 1 |
| | 韓国語文法（入門）3（必修科目） | 1 | 1 |
| | 韓国語会話（入門）1（必修科目） | 1 | 1 |
| | 韓国語会話（入門）2（必修科目） | 1 | 1 |
| | 韓国語表現 1（必修科目） | 1 | 1 |
| | 韓国語表現 2（必修科目） | 1 | 1 |
| | 英会話（必修科目） | 1 | 1 |
| | 韓国語文法（上級）（必修科目） | 1 | 2 |
| | 韓国語会話（上級）（必修科目） | 1 | 2 |
| | 韓国語検定試験演習 1（必修科目） | 1 | 2 |
| | 韓国語表現技法 1 | 1 | 2 |
| | ビジネス韓国語 1 | 1 | 2 |
| | 韓国語プレゼンテーション 1（必修科目） | 1 | 3 |
| | 韓国語演習 1（必修科目） | 1 | 3 |
| | 韓国語表現技法 2 | 1 | 3 |
| ビジネス韓国語 2 | 1 | 3 | |

【第2学年後期の学修】

この学期は、必要な科目を履修しつつ、3年次からの専門的な学修の準備をしていきます。

1. 共通教養科目と外国語科目（第二外国語）の履修が始まります。
 - ・「キャリアデザイン1」は、就職活動の準備のための科目です。卒業後に就職を目指す人は履修することを強く推奨します。
 - ・「ICTリタラシー2」は、社会で必要とされるソフトウェアのやや高度な運用技術を修得するための科目です。各自の必要性に応じて履修を決めてください。
 - ・外国語科目は選択科目ですから履修しなくても卒業要件を満たすことができます。韓国語以外の外国語を習得することは将来の進路選択にも役立ちますので、各自の希望進路や学修目標に照らして履修するかどうかを決めてください。外国語科目の中には東アジア専攻の学生用に英語も設けられています。特に英語は活用できる幅が広いので、履修することを強く推奨します。外国語科目を履修する場合、1言語を選択し、この学期から入門、基礎、中級、上級（「総合英語1～4」）の順に履修しなければなりません。外国語科目は抽選科目ですから、希望通り履修できないこともあります。履修の方法は、VI-Iの外国語科目の授業科目表の下にある「外国語科目履修上の注意」を参照してください。
2. 学部共通開講科目については下記を参考にして履修してください。
 - ・必修科目の「専門導入セミナー」を履修し、第3学年以降の「セミナー」に備えます。この科目の中で各人の研究テーマを考え、学期末に研究計画書を提出し、それに基づいて第3学年以降に所属する「ゼミ」が決定されます。この科目を履修しない場合は所属が決まらず、3年生になっても「セミナー1」と「セミナー2」を履修できません。
 - ・日本語教員養成課程の修了を目指す人は「日本語学」を履修してください。
 - ・「インターンシップ」と「体験プログラム」については、説明会がありますから参加してください。参加するインターンシップや体験プログラムによって時期が異なります。
3. 言語科目では、必修科目の「韓国語文法（上級）」、「韓国語会話（上級）」、「韓国語検定試験演習1」を指定されたクラスで履修してください。卒業までに18単位以上修得する必要がありますから、選択科目の「韓国語表現技法1」「ビジネス韓国語1」なども計画的に履修してください。
4. 専門発展科目は、必修科目の「現代韓国の理解」に加えて、歴史・言語・文化などの様々な科目を選択できます。卒業までに韓国語コース専門発展科目の中から18単位以上修得する必要がありますから、各自の興味関心に応じて計画的に履修してください。また卒業要件の18単位を超える分については、グローバル専攻の専門基礎科目・専門発展科目を履修することもできます。この学期には2年次に配当される専門基礎科目を履修できます。**16単位まで**
5. 後期に学部主催のTOEICテストを実施しますから、必ず受験してください。

【第3・4学年の学修】

専門分野の知識を深め、アカデミックな知識を深め、体験を積みます。卒業に必要な単位を揃えられるように、履修登録には細心の注意を払ってください。進路選択についても考えて行動してください。

1. 共通教養科目・外国語科目は、引き続き必要な科目を履修してください。下記に注意してください。
 - ・外国語科目は合格すれば上のレベルの科目に自動的に履修登録されます。途中で辞退することはできませんから注意してください。
 - ・前期の「キャリアデザイン2」は就職活動をめざした実践的な内容になります。履修を強く推奨します。
 - ・前期の「基礎数学1」と後期の「基礎数学2」は、企業の採用選考で課される数学的な能力を問うテストの対策講座です。数学が苦手な人は履修することを強く推奨します。
2. 学部共通開講科目では下記を参考にして履修してください。
 - ・日本語教員養成課程の修了を目指す人は「日本語教授法1」、「日本語教授法2」、「日本語教育実習」は必修科目ですから履修してください。日本語についてさらに知識を深めるために「日本語音声学」と「日本語史論」も履修を検討してください。

| | | 3年次～ | | | | 4年次～ | | | | 卒業要件 | | | |
|--------------|---|--|--|--------------------------------------|--|--|--------------------------------------|---|--|--------------------------------------|-------|------------------------|-------------------------------|
| 全学共通科目 | 共通教養科目 | キャリアデザイン2 基礎数学1 | 2 2 | 選 選 | 基礎数学2 | 2 | 選 | | | | | 各科目群の修得すべき単位数を含み10単位以上 | 必修科目を含み26単位以上 |
| | 外国語科目 | フランス語基礎 A・B スペイン語基礎 A・B ドイツ語基礎 A・B 韓国語基礎 A・B 中国語基礎 A・B タイ語基礎 A・B ベトナム語基礎 A・B 総合英語 2A・B | 各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1 | 選 選 選 選 選 選 選 選 | フランス語中級 A・B スペイン語中級 A・B ドイツ語中級 A・B 韓国語中級 A・B 中国語中級 A・B タイ語中級 A・B ベトナム語中級 A・B 総合英語 3A・B | 各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1 | 選 選 選 選 選 選 選 選 | フランス語上級 A・B スペイン語上級 A・B ドイツ語上級 A・B 韓国語上級 A・B 中国語上級 A・B タイ語上級 A・B ベトナム語上級 A・B 総合英語 4A・B | 各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1 各1 | 選 選 選 選 選 選 選 選 | | | |
| 学部共通開講科目 | 日本語教授法1 ビジネスライティング 日本文学研究 日本語学 日本語史 | 2 1 2 2 2 | 選 選 選 選 選 | 日本語教授法2 日本語教育実習 日本文学史 | 2 2 2 | 選 選 選 | | | | | | 必修科目を含み6単位以上 | |
| | セミナー科目 | セミナー1 | 2 | 必 | セミナー2 | 2 | 必 | セミナー3 | 2 | 必 | セミナー4 | 2 | 必 |
| グローバル専攻 | 言語科目 留学科目(※) | キャリア英語2 ディベート English for Specific Purposes 2A English for Specific Purposes 2B English for Specific Purposes 2C | 1 1 1 1 1 | 必 必 選 選 選 | プレゼンテーションスキル上級 交渉のスキル English for Specific Purposes 3A English for Specific Purposes 3B English for Specific Purposes 3C | 1 1 1 1 1 | 選 選 選 選 選 | | | | | | 言語科目は必修科目を含み13単位以上、留学科目は2単位以上 |
| | 専門基礎科目 専門発展科目 | 専門発展科目(3年次～4年次) ※開講学期は各年度の時間割表を参照のこと(ただしThesis Writingは4年次の通年科目として開講) | | | | | | | | | | | |
| 専門科目 | 言語科目 留学科目(※) | 中国語プレゼンテーション1 中国語演習1 中国語表現技法2 ビジネス中国語2 | 1 1 1 1 | 必 必 選 選 | 中国語プレゼンテーション2 中国語演習2 中国語検定試験演習2 | 1 1 1 | 必 必 必 | | | | | | 言語科目は必修科目を含み16単位以上、留学科目は2単位以上 |
| | 専門発展科目 | 専門発展科目 ※グローバル専攻の科目を除き、前期に開講する(ただしThesis Writingは4年次の通年科目として開講) | | | | | | | | | | | |
| 東アジア専攻中国語コース | 言語科目 留学科目(※) | 韓国語プレゼンテーション1 韓国語演習1 韓国語表現技法2 ビジネス韓国語2 | 1 1 1 1 | 必 必 選 選 | 韓国語プレゼンテーション2 韓国語演習2 韓国語検定試験演習2 | 1 1 1 | 必 必 必 | | | | | | 言語科目は必修科目を含み16単位以上、留学科目は2単位以上 |
| | 専門発展科目 | 専門発展科目 ※グローバル専攻の科目を除き、前期に開講する(ただしThesis Writingは4年次の通年科目として開講) | | | | | | | | | | | |
| 東アジア専攻韓国語コース | 言語科目 留学科目(※) | 中国語プレゼンテーション1 中国語演習1 中国語表現技法2 ビジネス中国語2 | 1 1 1 1 | 必 必 選 選 | 中国語プレゼンテーション2 中国語演習2 中国語検定試験演習2 | 1 1 1 | 必 必 必 | | | | | | 言語科目は必修科目を含み16単位以上、留学科目は2単位以上 |
| | 専門発展科目 | 専門発展科目 ※グローバル専攻の科目を除き、前期に開講する(ただしThesis Writingは4年次の通年科目として開講) | | | | | | | | | | | |